

平成28年度 年間授業計画

都立小山台高等学校・定時制課程

1	教科・科目	地理歴史 日本史A	2	単位
2	対象学年	3 年		
3	教科担当者	向井 将之		
4	使用教科書	日本史A現代からの歴史(東京書籍)	使用教材	なし

5 年間授業計画

学期	月	単 元 (指導内容)	具体的な指導目標	予 定 時数
1学期	4月	開国と討幕	幕末の最終段階で、延命を図る幕府側と、武力討幕を目指す討幕派それぞれにどのような動きがあったかを理解させる。	1 8
	5月			
		中間考査		
	6月	明治政府の諸改革	新政府の方針にはどのような特徴があったかを考察させ、廃藩置県を通じて中央集権体制が整備されていく過程を理解させる。	1 8
	7月	期末考査		
2学期	9月	日清戦争	日清戦争の原因・経過・影響について考察させる。 日露戦争の経過と、戦争が国民にどのような影響を及ぼしたのか理解させる。	2 1
	10月	日露戦争 中間考査		
	11月	帝国日本と第一次世界大戦	大戦中の日本の中国侵略が欧米列強の反発を招いたこと、戦後の民族自決の高まりの中で、日本が中国や朝鮮で民族独立運動に直面したことを理解させる。また、第一次世界大戦後、国際紛争の平和的解決を掲げた国際連盟の創設にみられるように、国際協調推進が世界の大勢となっていたことを考察させる。	2 1
	12月	期末考査		
3学期	1月	軍部日本への道	金融恐慌や昭和恐慌によって日本経済は深刻な不況に陥れ、労働争議や小作争議が激化したことを理解させる。また、昭和恐慌下の農村の悲惨な実態にも目を向ける。 ヨーロッパで第二次世界大戦が勃発していく中で、日本とアメリカが次第に対立を深め、ついには破局に至った経緯をまとめ、その原因を探る。	2 7
	2月	太平洋戦争		
	3月	学年末考査		

6 学習者への注意

「覚えること」「考えること」それぞれにしっかり取り組むことが大切。

7 評価の観点、方法

授業参加点、提出物点、考査点の三観点で総合的に評価する